













— 当社	● 製品	◎ 海外展開	動向
<p>—1895 石杉社(後の共立電機株式会社)が創立。</p> <p>—1900 安中電機製作所が創立。</p> <p>—1931 共立電機株式会社と安中電機製作所の合併により、安立電気株式会社が発立。</p>			<p>無線技術、計測技術、 エレクトロニクス技術の蓄積</p>
<p>—1975 産業機械事業部発足</p>	<p><b>はかり応用技術</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1961 差動トランスの原理を用いた微小変位測定器「電子マイクロメータ」を開発。</li> <li>●1964 電子マイクロメータの技術を発展させ、重量選別機「オートチェッカ」を開発。スーパーマーケットの普及に伴う袋詰め商品の急増を背景に、好調な売れ行き。</li> </ul> <p><b>定量計量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎1968 ヨーロッパ諸国への輸出を開始。</li> <li>●1969 オートチェッカの電子計量技術を応用し、自動電子計量機を開発。</li> <li>●1973 低価格戦略機のオートチェッカ「K513シリーズ」を開発。 ▽1973:オートチェッカ累計販売 3,000台</li> <li>●1977 オートチェッカ「Eイトシリーズ」を開発。ヒット商品に。</li> </ul> <p><b>異物検出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎1980 アジア地域への輸出を開始。</li> <li>●1981 磁気センサ技術により、金属検出機(K470)を開発。</li> <li>▽1984 オートチェッカ:累計販売 10,000台</li> </ul>	   <p>中国の食品工場に 並ぶ自動電子計量機</p>	<p>産業機械事業を開始</p> <p>海外市場へ進出</p> <p>製品分野の拡充</p> <p>日本の経済成長にともなう 事業の発展期</p> <p>異物検査分野へ進出。 消費者が「質」を求める時代に</p>
<p>—1985 アンリツ株式会社に社名変更</p> <p>社名変更の 新聞広告</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1989 オートチェッカ「Hiシリーズ」を開発。欧州各国の公的機関が定めた厳しい基準をパスし、輸出に拍車。 ▽1989 金属検出機:累計販売 4,000台</li> <li>●1991 金属検出機「スーパーメボリ」を開発。ヒット商品となり、食品メーカーに急速に普及。</li> <li>●1994 オートチェッカ「FCシリーズ」</li> <li>●1994 自動電子計量機「クリーンカップスケール」を開発。高付着性食品の計量を可能にし、国内外で技術賞などを多数受賞。</li> <li>▽1995:オートチェッカ累計販売 30,000台</li> </ul>	  	<p>国際基準の厳格化で、 性能・機能の高度化に拍車</p>
<p>—1996 産業機械の販売会社「電子機器産業株式会社」が、「アンリツ産機システム株式会社」に社名変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1998 オートチェッカ「IPシリーズ」を開発。IP66の防水防塵等級で、HACCPに適合。</li> <li>●1999 金属検出機「スーパーメボリII」</li> <li>●2000 オートチェッカ「SVhシリーズ」を開発。GMPバリデーションに対応し、ユニット構造による豊富なラインナップ。</li> <li>●2000 自動電子計量機「クリーンマルチスケール」</li> <li><b>X線検査</b></li> <li>●2000 X線異物検出機を開発。X線技術、画像処理技術の幕開け。</li> </ul>	 	<p>食品生産ラインの 衛生管理が高度化</p> <p>食の安全への関心が高まる</p>
<p>—2002 アンリツ株式会社の産業機械事業を、アンリツ産機システム株式会社に統合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2002 X線異物検出機「KD73シリーズ」</li> <li>●2003 オートチェッカ「SVfシリーズ」「SViシリーズ」</li> <li>●2003 自動電子計量機「クリーンマルチスケール Cube」</li> <li>◎2003 中国に現地法人を設立</li> <li>●2004 金属検出機「スーパーメボリIII duwシリーズ」 金属検出機「スーパーメボリIII Mシリーズ」</li> <li>◎2005 アメリカとイギリスに現地法人を設立</li> <li>●2006 X線異物検出機「KD74シリーズ」</li> <li>◎2008 タイ工場が操業開始</li> </ul>	  	<p>分社・独立し、より機動性の高い 事業展開のための体制へ</p> <p>グローバルビジネスの本格化</p>